



**問** 避難弱者へ対応するための備蓄品について

**答** 様々な状況に対応できるよう備蓄している

**問** 乳幼児・高齢者へのための備蓄品及び食物アレルギー者への食糧の対応はできているか。

**生活安全課長** 避難の際には、ご自身で準備された非常

用持出品を持参していただきたいと考えています。備蓄品については、乳幼児用として、液体ミルク、オムツを備蓄。高齢者用として、オムツや咀嚼の負担軽減を目的として雑炊を備

蓄しています。雑炊は幼児への配布も考えています。アレルギーをお持ちの方には、エビや小麦、そばなど28品目に対応した雑炊を令和3年度より備蓄しています。

**問** 公共交通の将来像は

**答** AI を利用したデマンド交通を推進中

**問** 高齢者等がバス停までの移動が大変である。町内循環の運行経路であれば、どこでも乗り降りできないか。

**生活安全課長** AI を活用したデマンド交通運用システムを導入できるよう準備を進めています。利用者が希望する時間に乗車予約を入れることで、同じような時間帯や方面に向かう複数の利用者を持ち合わせにより、最適なルートで送迎するのがデマンド交通です。今回の導入では、ご

かりん号を使って運行します。朝晩ルートは現状の運行を維持し、日中ルートの運行になります。乗降できる場所

は、アプリを使用した仮想バス停になります。今年度中に実証実験を開始したいと考えています。

令和6年1月から  
予約に応じて運行

アプリで予約

町公式ホームページ

電話で予約

デマンド運行時間 8:00 ~ 16:00  
※朝晩ルートは現行どおり運行します。

デマンド交通システムのイメージ

**問** マル福の申請の簡素化と新たな子育て支援について

**答** 可能な範囲で実施していきたい。屈折検査を導入予定

**問** 県外での受診でマル福が使えず、領収書をもらい、同医療機関・同月ごとに町へ申請している。子育て中の方から簡素化してほしいとの要望に対応できるか。また、新たな子育て支援策はあるのか。

**町民税務課長** 現在使用し

ている申請書の記入欄の簡素化を図り、申請する際の記入負担を軽減できないかと思案しているところです。例規の整備や事務の見直し等、環境が整い次第、可能な範囲で実施していきたいと考えています。

**健康福祉課長** 今年度より

乳幼児疾病の早期発見、早期治療を更に促進するため、3歳児健診において、現状の視力検査に加え、目の屈折検査を実施します。実施時期は、県から機器を借受け、職員が機器の取扱い研修を修了する秋以降を予定しています。